



テープカットで幕開け



川内商工高等学校吹奏楽部の演奏でオープニング



スチールドラムバンドの演奏



バルーンアートで子どもも大喜び

# がんばろう日本！ 長島から夢と感動をプレゼント

## Comment

【一般・PTAの部】



第14回ながしま造形美術展  
審査員長 楠畑 裕也

隔年毎に開かれてきたこの造形美術展も、14回ともなると全島が一致した展示はこれまでになく充実したものになったようです。物を作る作業は、つくる人が自分たちの心を表すもので、言葉ではなく目で内的感情の豊かさを表現することであり、そのために高い叡知と魂の高揚が求められます。したがって中途半端な気持ちや安易な物まねをできるだけ避けて、本当に作りたいたいものを明るく楽しく表現するように工夫していくべきです。今回私の目にとまったものは「クロコダイルの家族の絆」「NAGAシマフクロウ」「カズラの花籠と石の花」などでした。まだまだ夢のある作品の作られる余地がこの長島の地にはいっぱいあります。その希望を大らかに膨らませて次回への糧にしてください。

【学校の部】



第14回ながしま造形美術展  
審査員 岩元 里美  
(出水工業高等学校教諭)

最優秀賞に選ばれた本浦小学校の作品は、ヒオウギ貝や松笠など身近にある自然の素材で作った、ちよつととぼけた表情の生き物です。楽しそうに作っている子どもたちの顔と制作風景を想像させてくれるような作品で、ほのぼのとした雰囲気がよく出ていました。  
自然の素材を集めたり、全体的な造形と制作への参加を両立させるのは大変ですが、立体造形の面白さを発見して、それを楽しめるような仕掛けが大切だと改めて感じました。